



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.3.1 No. 3358

千葉転点 60名が突入集会に結集

千葉駅売店5名をスト指名

千葉転では、一〇時三〇分からスト突入へ向け、前段集会在、庁舎前で開催された。新小岩、佐倉からの支援も含めて六〇名以上が参加し、寒風を突き破って意気高く勝ちとられた。

この集会に対し反動区長土岐は、帽子をかぶら

ず門の前でウロウロするばかりで、すでに浮き足立っているようである。そして、一二時。いよいよスト突入だ。千葉転では、動労水戸の仲間も応援に駆け付け、庁舎前と千葉駅に別れて、スト破り糾弾行動が行われた。糾弾されるスト破り要員は、ただうなだれるばかりである。また、千葉駅

りである。また、千葉駅では、快速の運転台から「おまえら何やってんだ。千葉労か」と、JR総連とおぼしき乗務員が挑発的にでてきた。しかし、いくら危機感を隠そうとも、尾灯のつけっぱなしは、何をかいわんやである。(動労千葉がこんなことをしたらすぐ5%カ

出、組合事務所に寄ることも妨害する状況である。JR総連と結託したスト圧殺攻撃だ。しかし、このようなやり方は怒りに火をそそぐだけであった。

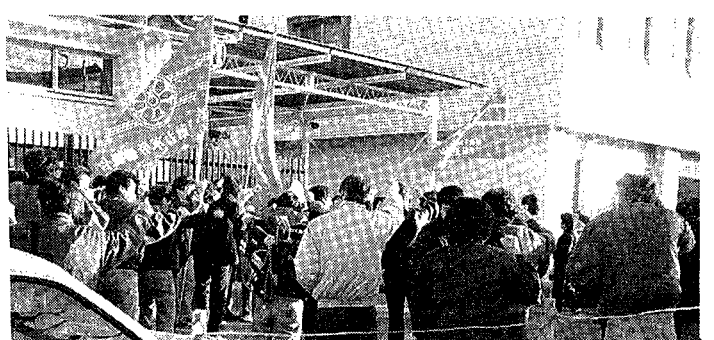
いよいよスト突入を前にして、数百名も集められた「スト対策」は、何の権限も与えられていない。「スト通知を行いたい」と申し入れると、玄関番のピケ隊は、「今、(津田沼対策本部に)問

さらには、千葉駅売店で勤務する組合員に、千葉運転台の窓を開け挑発するスト破り分子



副駅長林が「来月から改札だ」などと、全く説明もない配転など、理不尽な対応にでていている事から急遽5名をスト対象者に指名、千葉転に合流した。一八時から、弁天町会館で集約集会在が行われ、市川福平県議も駆け付け一〇〇名を超す組合員は熱気あふれんばかりであった。3・16ストへ更に体制を強化し突き進もう。

反動区長・土岐に怒りのシュプレヒコール



津田沼点

組合事務所にピケ隊 国労も公休特休年の呼出し拒否

二五日正午からのストライキを前にして、当局は、前日夜からまたも、組合事務所に設置した「妨害フェンス」の両脇にピケを張り、度重なる「退去通告」を行い、組合事務所の使用妨害を開始する。庁舎にも力ギをかけ、ピケを張って一切立ち入りを認めない。

いよいよスト突入を前にして、数百名も集められた「スト対策」は、何の権限も与えられていない。「スト通知を行いたい」と申し入れると、玄関番のピケ隊は、「今、(津田沼対策本部に)問

とを承知で、「五項目」なる条件をもち出して、立上り交渉にも応じようとしなさい。「組合員を庁舎に入れることはできない」と称して、立上り交渉は、何と外での立話しである。しかも、立上り交渉員として確認した二名の役員まで、スト集約のために一旦外へ出ると、確認を反故にして、組合事務所への通行はもとより、一切入構を認めないというのである。

津田沼支部は、当局一革マル結託体制の不当なスト圧殺攻撃をはね返し、二一時すぎから集約集会在を開催、第二波ストへの決意をうち固めた。

二五日朝からも、泊アケの乗務員を管理者がとり囲んで、職場から追

正午、いよいよスト突入。中野・津田沼で次々と組合員がストライキに突入。スト決行中の掲示がはり出され、正午

ダメージを受けた当局は、何とストの立上りに際し、組合側がとうてい認めることができないこ

まさに苦しまぎれのがきである。



3・16ストを訴える小倉支部長